

令和 7 年度第 1 回仙北地域協議会会議録

令和 7 年 5 月 2 3 日

仙北地域協議会

令和 7 年度第 1 回仙北地域協議会会議録

目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議	3
■その他	9
■閉会	10
■署名	10

令和7年度 第1回仙北地域協議会 会議録

■日 時：令和7年5月23日（金） 午後2時00分

■会 場：さくまろ館 大研修室

■出席委員：9名

伊 藤 歩 美、 加 藤 和 浩、 小 松 利 也、 佐々木 千 秋
須 田 綾 子、 須 田 和 久、 田 村 雅 史、 風 登 若 子
吉 田 和 博

■欠席委員：5名

小 松 彩 香、 佐 藤 尚、 佐 藤 立 哉、 鈴 木 弘
室 谷 裕 子

■出席職員：7名

佐々木 博 喜（仙北支所長） 伊 藤 優 子（市民サービス課長）
渋谷 亘（農林建設課長） 竹 村 智 子（公民館長）
齊 藤 浩 志（観光文化スポーツ部文化財課長）
小 松 大（教育委員会事務局次長兼教育総務課長）
高 橋 あゆみ（教育総務課主幹） 佐々木 顕 彦（教育総務課副主幹）
碓 谷 真 澄（地域活性化推進室副主幹）
草 薨 友 也（地域活性化推進室副主幹）

■次 第：

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ（職員紹介）
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協議
 - （1）第二次大仙市学校規模適正化推進計画（素案）について
 - （2）仙北地域振興計画の進捗状況について
 - （3）令和7年度仙北地域の主要事業について
- 6 その他
- 7 閉会

(午後 2 時 0 0 分 開会)

○地域活性化推進室 草薨副主幹 (以下「草薨副主幹」と表記)

本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。ただいまから、令和 7 年度第 1 回仙北地域協議会を始めさせていただきます。また、今回は教育委員会事務局教育総務課から説明のため、ご出席いただいておりますのでよろしくお願いいたします。はじめに佐々木会長よりごあいさつをお願いします。

○佐々木会長 (以下「会長」と表記)

皆さんこんにちは。今日もお忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。本日は第 1 回目ということで、今年度も今日からスタートしますので改めましてよろしくお願いいたします。お天気ですけれども、先週かなり暑かったと思えば週末になったらお天気が崩れて天気が変わりやすく、体調管理など皆様お気を付けてお過ごしのことかと思えます。熊なんですけれども、仙北地域にも目撃情報が出まして、まだまだ油断できないと思いますので、遭遇した時にどうすればいいかというのは色々と言われてますけれども、実際に会ったときはビックリしてしまうと思うので、どこに現れてもおかしくないという心づもりをしていくしかないのかなと思っています。それから農作業が本格的にスタートしまして、仙北地域は田んぼに囲まれているところですので、水田がすごく綺麗な時期になって私の周りでも、一生懸命農作業をされていて、お米も色々な問題がありますけれども、天候の心配もあると思いますが、美味しいお米を作って欲しいなと思いつつ、この時期はいい景色だなと思いつつ見えています。あと、仙北中学校が私の家の目の前にありまして、それぞれ部活動を頑張っていると思うんですけれども、野球部が外で一生懸命頑張っていて、春季大会で地区大会優勝して素晴らしい活躍だったなと思います。子ども達が元気な地域はすごく良いなと思いつつ見えています。今日は、教育委員会の事務局からもいらしていただいて、ありがとうございます。今日は、内容が盛りだくさんですので、皆様の意見も頂戴しながら進めて参りたいと思います。それでは最後までよろしくお願いいたします。

○草薨副主幹

ありがとうございました。次に佐々木支所長よりご挨拶を申し上げます。

○佐々木支所長 (以下「支所長」と表記)

皆様、おつかれさまでございます。5 月に入っても肌寒い日が続いておりましたが、周りの田んぼでも田植え作業がピークを迎えているところで、農作業繁忙期のご多忙の中、第 1 回仙北地域協議会にご出席いただき、ありがとうございます。委員の皆様には第 6 期委員として任期 3 年目となる最終年を迎えることとなりますが、当市が掲げる協働・共創のまちづくりの実現に向け、お力添えのほどお願いいたします。また、今年度は大仙市の様々な計画の改訂年度となっています。委員の皆様の意見を伺うことも考えていま

すので、よろしくお願いいたします。大仙市は、本年3月に合併20周年を迎え、昨年6月から周年を祝した事業が市内各所で開催されております。21年目をスタートした大仙市、そして当地域がますます活気に満ちますことを期待しております。本協議会におかれましても、各分野、各方面からのご意見を頂戴し、充実した会となり、元気で活力ある史跡の里になりますようご協力をお願い申し上げます。本日でありますが、先ごろ新聞報道等がありました大仙市の学校統合に関しまして、第二次大仙市学校規模適正化推進計画の素案を教育委員会事務局教育総務課よりご説明申し上げます。その他、仙北地域振興計画の進捗状況、令和7年度仙北地域の主要事業の3件を議題としておりますので、よろしくご審議賜りますようお願いいたします。あいさつが長くなつてしまい申し訳ありませんが、今年度第1回目の会議ということで本日出席の職員を紹介させていただきます。

(職員紹介)

本日はよろしくお願いいたします。

○草薙副主幹

ありがとうございました。この後の進行につきましては条例の規定に基づきまして佐々木会長にお願いいたします。

○会長

それでは、会議を始めます。本日、小松彩香委員、佐藤尚委員、佐藤立哉委員、鈴木弘委員、室谷裕子委員より欠席の届け出が出されておりますが、委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立していることを報告いたします。次に会議録署名委員の指名を行いたいと思います。今回は、須田綾子委員と風登若子委員にお願いいたします。それでは、議事を進めてまいります。(1)の「第二次大仙市学校規模適正化推進計画(素案)」について事務局より説明をお願いいたします。

○教育委員会事務局次長兼教育総務課 小松課長(以下「教育総務課長」と表記)

大仙市教育委員会教育総務課長の小松と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日は、貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。このいただいたお時間の中で、現在、市が行っております学校再編の取組みについてご説明をさせていただきます。説明の前に当課の職員を紹介させていただきます。

(職員紹介)

秋田県は、皆さんご承知のことと思いますが、人口減少率及び高齢化率が全国第1位となっております。この要因の一つとしては、若い世代の流出、それに関連しまして子どもの数の減少が挙げられておりますが、これは大仙市においても同様に見ることができます。

配布しております資料をご覧くださいでしょうか。ここ仙北地域においては、平成22年度生まれの現在中学3年生が51人、そして昨年度、令和6年度生まれが28人。23人の差があります。45%の減ということになります。この14年で子どもの数は、大きく減少しているということが分かります。このような急激に進む少子化に加え、学校施設の老朽化も喫緊の課題となっておりますことから、市内小中学校の再編について検討を行って参りました。この後、ご説明いたします計画の素案は、大仙市全体の計画と個別計画として東部地域について示したものとなっております。また来月には、東部の各地域でこども園の保護者を含む説明会を開催する予定としております。仙北地域は、6月26日18時からふれ文で行いますが、広くご意見ご要望を伺いたいと考えております。そして皆様からも本日のこの時間で感じたご意見、ご感想をお聞かせいただき、今後の説明会で私ども活かしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上、私からのあいさつとさせていただきます。

○教育総務課 佐々木副主幹

【資料に基づき説明】

○会長

ありがとうございました。詳細にわたり、数字も具体的に出していただいて。この統合の件に関しては、地域住民の方からもどうなるんだろうっていう、不安とまではいかないにしろ、分からないところがあったので、協議会でお話を聞くことができて良かったと思います。ただいまご説明いただきましたけれども、皆様ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

○田村副会長（以下「副会長」と表記）

すみません。時代なんでしょうね。学校統合、必要だとは思いますが。大仙市内で学校を選べるのでしたっけか。例えば、東部ですけれども大曲に行きたいとか、西部に行きたいとか。例えばうちなんかは、美郷のほうが近いので、例えば美郷中に行きたいとか。今も横手の清陵に行っている子もいるんですが、東部だと中仙あたりに学校が建ちそうな気がするんですが、そうすれば、仙北地域だと南側の子は美郷のほうが近い気もするし、戸地谷方面になると大曲中のほうが良いかなとかってなってバランスが上手く取れていくのかなと。あと、スクールバスも色んな問題があるのかなと思うんですよね。美郷も協和もスクールバスを使っているんですが、すごく大変そうな話も聞くので。

○教育総務課長

今、お話しいただいたものは、学区制となるかと思います。今のご説明した資料の中にも学区制の再検討はしていきますと記載はしています。現状、仙北地域の子ども達は、高梨小と横堀小のほうに行くというのが、いわゆる学区制なんですけれども、今回この統合

ということで、新しい学校がどこになるっていうのは、全くの白紙なんですけれども、その結果によっては、もしかすれば、例えば、高梨の子は大曲に行くとか、大仙市内の中で今までは仙北地域の学校に行ってたのが、大曲のほうに行くとかっていう考え方もこれは出てくるのかなとは思いますが。これが学区制ということになりますので、これについては地域の中でも色んな考え方が出てくるのかなというふうに思いますので、地域の中で色々と揉んでいただきたところの一つとなります。あと美郷のほうにという話もありましたけれども、行政を越えるという形になりますので、それはまた各ご家庭の考え方というところが出てくるのかなと。実際、現状ですね、横手清陵の話もありましたけれども、部活の関係とかで仙北市から大仙市の学校に来ている子とかも実際にいるんですね。その行政を越える通学という考え方というのは、これまでと同じような手続き、考え方で進めていくような感じになるのかなと考えているところです。それからスクールバスの話も出てきました。我々も懸念している大きな問題の一つが通学の足ということになりますので、そこをどうゆうふうに整備していくか、これは大きな課題です。何回もお話ししました通り、場所は未だ決まっていらないんですけれども、通学の順路といいますか、例えば、バス通学が必要な子の直ぐ家の前から乗せていくというふうになると、その分、通学の時間は長くなってしまいます。そうすると、小学1年生の子とか2年生の子とかバスに乗っている時間が長いと心配なところもありますので、ちょっと家から離れるかもしれないんだけど、集まってもらふ場所、これは公共の施設とかを。ここに集まってもらって新しい学校までの最短ルートで。そういった形でスクールバスのルートを考えていく必要があるなど。もちろん、第一に考えなければならないのが子ども達の安全ということですので、こういうことも含めて今後、あらゆる角度から検討していくということになるということによってやっていきたいと思えます。

○会長

私のほうから、説明会が6月に行われるってことでしたので、それは広報にも載って、地域住民の方が自由に参加できる形だと思うんですが、地域協議会委員が、こういったことで何か知らないかって言われることも多いんですが、今日ここで説明していただいた資料の中の話って聞かれた場合は、お話ししても大丈夫なんですか。説明会の前に。

○教育総務課長

その素案については、3月に行われた大仙市議会の中で、大仙市の全議員にお話しはしてますし、地域選出の議員さん方にもしっかりと説明をしている内容になります。そして、3月末にこの素案はホームページにも上げてますので、ご覧いただいている方もいるのかなというふうに思ってますので、色んなお話しや声を掛けられた場合にですね、色んなご意見を集めてもらって、こういった機会に私のほうにお伝えいただければと思います。

○会長

はい、ありがとうございました。一番聞かれるのがどこに出来るのかなんですよ。小中

学校ってやはり、地元の方と触れ合ったり、そういうのに学校のほうで力を入れて頑張っているんで、その辺がどの地域も心配というか、そこに関してはこれから色々な話をして決めていくという形なんですよね。

○須田和久委員

すみません。ちょっと教えてください。太田は、地域小学校を作ってということなんです、中仙の豊成小学校は外れるってことなんですか。仙北は地域小学校作らないということなんです、この理由はどういったことですか。

○教育総務課長

はい。まず、この計画はあくまでも素案ということで、たたき台ということでお話を聞いていただきたいと思います。太田地域につきましては、現在ですね、保育園が1つ、小学校3つ、中学校が1つという状況になっています。保育園に入って小学校でバラバラになって、中学校で一緒になってという状況で、こうゆう状況について昔から太田では懸念されているということがありまして、まず小学校を1つにしたいという住民からの声が多かったというところです。それから、中仙ですが豊成小は今、置いておいて形になっているんですが、令和3年に豊岡小と豊川小が統合して、豊成小学校という形になっています。令和3年に一旦統合しました、また今、中仙で統合します、また5年後、また1つになりますってなると地域の方々、子ども達にとって、こうゆうあたりどうゆう考え方になるんだろうという気持ちが我々持っているところでして、ただこれも中仙の中で、豊成小も一緒になりたいというような声が挙がってくれば、ここは考えるというふうになるのかなと思います。それから仙北地域で小学校それぞれでという形の案を出している訳ですが、これについては、アンケートの結果で今のままでという声が大きかったというのが、一番の理由かなというふうには思います。あとは、子ども達の人数なんですけれども、横堀小は少し少なくなっているという感じなんです、一緒にしても適正規模を満たすという感じにはなっているんですが、アンケート結果っていうのも重視している結果ですので、まずは別々でという形にしているところですが、同じように地域の中での声というところを、お伺いしながら進めていきたいなというふうに思います。

○須田和久委員

ありがとうございました。生徒の人数を見て本当に少なくなっているなとビックリして見ていたところです。統合の必要性はあるんだなと思って見たところですが、地域地域で色んな事情があることだと思いますので、説明で納得しました。ありがとうございます。

○吉田和博委員

すみません。ちょっと思ったんですけれども、学校の統合って子ども達が減ってきて、この話がでてきてるんですけれども、その根幹にあるのが、学校の統合だけの話じゃなく

て、大仙市が思う、どのような国の方針としてまちづくりをしていく中での学校の統合っていうのを考えるかっていうことで、大仙市の大曲庁舎も昭和47年、仙北庁舎も48年、大仙市150施設以上まだある中で、人口、子ども達だけじゃなくて。日本郵政の増田さんがこの前、言ってたように7万人から5万人になるところをちょっと鑑みながら、市全体のビジョンの中で、学校統合を、この様な形におきますっていうのを提示していただければ、市民としても理解しやすいのかなと思います。

○教育総務課長

はい、ありがとうございます。まず、資料の冒頭でですね、この学校統合の問題というのが、教育委員会だけの問題ではないと捉えています。大仙市庁内の検討会議という、いわゆる財政の部分、建設の部分、産業の部分、あらゆる市の部門の代表から集まってもらった話し合いをずっと続けてきて、今回こういった素案というものをしています。今、お話しがあったとおり、市の庁舎も相当な老朽化、仙北庁舎もかなり古いと。我々、会議をしていく中で、そういった話は必ず出てくる話で、そのあたりも総合的な考え方、市全体としての考え方っていうのは、我々会議を行っていく中で、そこに入れているっていうのは、ご承知いただきたいところです。どうかよろしく願いいたします。

○小松利也委員

私、統合には賛成なほうですが、必要なって方が3分の1ほどいらっしゃるようなんですが、先行して横手市、湯沢市、由利本荘市で統合しておりますので、こちらの保護者に対してですとか、実際統合してみたら良かったですとか、アンケートというか参考資料とかがあれば、説明会の資料にあれば納得していただけるんじゃないかなというふうに感じました。

○教育総務課長

ありがとうございます。他市の統合の状況として資料で挙げているんですが、その結果として、保護者の声だとか、そういったものは、相当参考になると思いますので、前例のあるところに聞いてみたいと思います。ありがとうございます。

○会長

他に大丈夫でしょうか。はい、では議題の（2）に移って参ります。「仙北地域振興計画の進捗状況」について事務局より説明をお願いいたします。

○草薨副主幹

はい。説明に入ります前に会議の途中ではありますが、ここで教育総務課は退席となりますのでよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

（教育総務課 退席）

○支所長

市民サービス課 伊藤課長（以下「市民サービス課長」と表記）

仙北公民館 竹村館長（以下「公民館長」と表記）

農林建設課 渋谷課長（以下「農林建設課長」と表記）

【資料1に基づき説明】

○会長

はい、ありがとうございました。ただいまの各課からの説明につきまして、ご質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

（なしの声あり）

○会長

はい、それでは議題（3）の「令和7年度仙北地域の主要事業」について事務局よりご説明をお願いします。

【資料2に基づき説明】

○支所長

市民サービス課長

仙北公民館長

農林建設課長

文化財課 齊藤課長（以下「文化財課長」と表記）

○会長

はい、ありがとうございました。ただいまのご説明にご意見、ご質問ありませんでしょうか。私から、合宿所と武道館の解体はいつぐらいから始まるか分かりますか。

○公民館長

両方合わせてまして、5月下旬から9月いっぱい予定です。詳細が決まりましたら、地域全体のほうにお知らせはしていきたいと思っています。

○会長

はい、ありがとうございます。あともう一つ、支所長とも話してましたが、払田柵のプレートが大分劣化してて、あの話はどういうふうになったのかなと私、思い出したんですけど。

○文化財課長

すみません。それで、要望のほういただいたんですけども、予算の優先順位等がありまして、まだ実施出来ておりません。頑張って予算のほうを確保して、早期にやりたいと思っていますので、よろしくお願いします。

○会長

小松委員からQRコードを入れて観光用のものにできればと1年前に意見がでましたけれど。新しいの作るときは、そういうアイデアっていうのもお伝えして大丈夫ですか。

○文化財課長

はい。それでですね、整備全般に関してなんですけれども、環境整備審議会というのがありまして、その委員の先生達にその詳細を図りながら進めておりますので、そこら辺を相談して、やっていきたいと思います。

○会長

はい、分かりました。ありがとうございます。他にご意見、ご質問ないですか。

(なしの声あり)

○会長

はい。では、本日の議題は全て終了しましたが、この他に事務局から委員の皆さんへご連絡あるそうですのでお願いします。

○草薙副主幹

本日、ご出席いただきました委員の皆様には、封筒をお配りしておりますが、中身は今年度の東部地区合同研修会の開催通知でございます。今年度の担当地域は中仙でございます、開催日は、6月23日の月曜日となっております。研修会は、道の駅なかせんの中にある情報センターを会場に行います。研修会終了後、会場を移動して交流会を開く流れとなっております。多くの委員の皆様のご参加をお願いいたします。当日は支所からバスがでますのでご利用ください。また、本日、文化財課より鈴木空如の特別展のチラシを配布しております。こちらは、明日から6月8日まで太田文化プラザにて開催されておりますので、ご興味のある方は是非、足を運んでみてください。事務局からは以上でございます。

○吉田和博委員

すみません。1点だけいいですか。今、大空大仙さんのほうで、以上児棟が来年無くなって、未満児棟に合併する話で進んでるんですけど、大空大仙さんの話で今の学校統合の話と同じ様な感じになると思うんですけど、あそこの施設って今後、どのように活用するかって

決まってるんですか。

○支所長

みどり園の話ですね。そちらのほうは吉田委員おっしゃっていただいたようにまだ大空大仙の所有になっておりますので、私達がどうのこうのっていうのは言えないような立場になっています。いずれ、あのままにしておくと、ただ朽ちていくだけってなりますので、当然一般財産として大仙市のほうに戻された場合は、何かしらの方法で一般の方々に譲るとか、あるいは、別の用途で使うっていうことは検討していくことになると思いますので、その点については、まだはっきりしていないっていうのが正直なところです。

○会長

はい。では、以上をもちまして令和7年度第1回仙北地域協議会を閉会いたします。寒暖の差が激しいですので体調に気を付けて皆さんお過ごしください。それでは、お疲れ様でした。ありがとうございました。

(午後3時40分 閉会)

仙北地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

須田 綾子

風登 若子
